

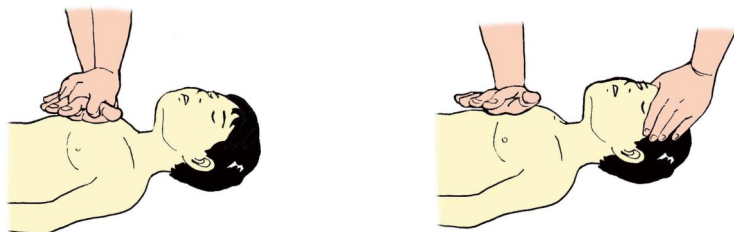
もしもの
ときの

応急手当 意識がないとき、呼吸がないとき

意識がない、呼吸がないときはただちに
救命処置を行きましょう。

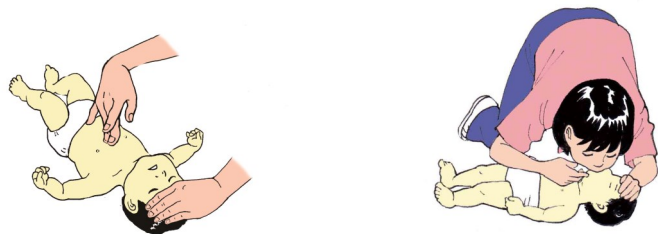
① 心肺そ生（小児）

- 胸の真ん中を両手又は、体格によっては片手で圧迫する。
- 胸の厚さの約1/3沈むまでしっかり圧迫する。
- 圧迫は1分間に100回から120回のテンポで。
- 人工呼吸は、胸の上がりが見える程度の量を約1秒かけて2回吹き込む。
- 胸骨圧迫30回と人工呼吸2回を組み合わせ、絶え間なく続ける。



② 心肺そ生（乳児）

- 両乳頭を結ぶ線と胸骨が交差する部分の少し足側を指2本で圧迫する。
- 胸の厚さの約1/3沈むまでしっかり圧迫する。
- 圧迫は1分間に100回から120回のテンポで。
- 人工呼吸は、胸の上がりが見える程度の量を約1秒かけて2回吹き込む。
- 胸骨圧迫30回と人工呼吸2回を組み合わせ、絶え間なく続ける。



【お問合せ先】

東京消防庁防災部防災安全課 ☎ 03-3212-2111（代表） FAX 03-3213-1478

STOP！子どもの「おぼれ」 東京消防庁

子どもがおぼれた場所の第1位は
自宅の浴槽です！！

年齢	順位	1位	2位
0歳		浴槽	-
		8人	-
1歳		浴槽	公園
		9人	1人
2歳		浴槽	-
		4人	-
3~5歳		浴槽	プール
		6人	1人

年齢別のおぼれる事故の発生場所（令和元年中）



「少くらい1人にしても大丈夫だろう」
「兄弟がいるから目を離しても大丈夫だろう」
こんな経験ありませんか？



こんな事故が起きています

親が寝てしまって・・・

【事例】

5か月の子どもは親と入浴し、その後物音がしないことを不安に思った家族が浴室を確認したところ、浴槽に水没している子どもと、寝てしまっている親を発見した。（程度：中等症）



少し目を離した際に・・・

【事例】

2歳の子どものが、親と入浴中に浴槽内で遊んでいたところ誤って後ろ向きにひっくり返り、頭までお湯に浸かってしまった。（程度：軽症）



浅い場所でおぼれた事例

【事例】

1歳の子どものが、公園内の浅い人工池で石の上から池へ飛び込んだ際に、着地に失敗して転倒しおぼれた。（程度：中等症）

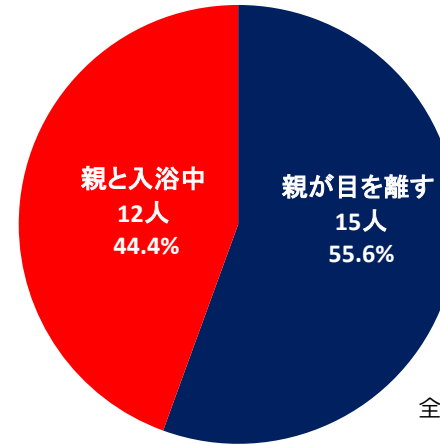


過去にはビニールプールでおぼれた事故も発生しています！

こんな時に子どもから目を離していませんか？

- 子どもだけで入浴させていて目を離していませんか？
- 自分や他の子どもの更衣のために目を離していませんか？
- 浮き輪で浴槽に浮かべたまま目を離していませんか？

約6割が
「親が目を離す」



全体数 27

浴槽でおぼれた時の状況（令和元年中）

首掛け式浮き輪での事故にも注意！
浴槽で使用して、保護者が目を離し、乳幼児がおぼれる事故が発生しています。



子どもの「おぼれ」を防ぐために

乳幼児をお風呂に入れている時、水遊びをさせているときは、決して目を離さないようにしましょう。

「おぼれ」は生命を脅かす事故となる可能性が高く注意が必要です。ほんのわずかな時間に事故が多く発生していることを知っておきましょう。

浴室に子どもだけで入れないようにしましょう。